

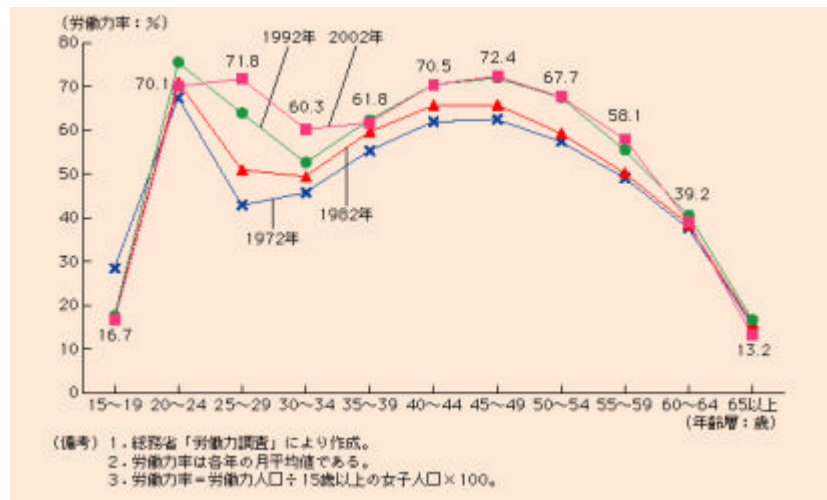
資料 3－3

平成15年版国民生活白書～デフレと生活 若年フリーターの^{いま}現在～
から見る男女共同参画社会との関係

○働く女性と結婚

女性の高学歴化と就業意欲の高まりにより、自分で収入を得ている女性にとっては、経済的な理由で結婚する必要性は低下している。

女性の労働市場への進出及び晩婚化により、女性の年齢層別の労働力率を示すM字カーブは、「M字の上方シフト」「M字型の谷部分の右シフト」が進んでいる。



夫婦の働き方の別でみる既婚者の暮らしに対する満足度では、男性では共働き世帯の満足度が最も高く、次いで専業主婦世帯、妻パート世帯の順となっており、夫の所得水準の順序と一致している。一方、女性では専業主婦世帯の満足度が最も高く、次いで妻パート世帯と共働き世帯の満足度が並んでいる。このように、男性では所得の高い仕事をしている人の満足度が高い。一方女性では、実際には外で働く人が多いものの、仕事に加え家事の両方を行い、時間的余裕のない状況にあるため共働き世帯や妻パート世帯の生活満足度は専業主婦世帯に比べて低くなっている。

夫婦の働き方	収入 (万円/年)				生活満足度 (%)	
	世帯収入		自由に使えるお金(万円/月)		夫	妻
			夫	妻		
共働き世帯	746	451	3.2	2.3	72.4	67.6
妻パート世帯	495	396	2.3	1.6	61.9	70.0
専業主婦世帯	488	427	2.1	1.0	67.0	75.7

- (備考) 1. 内閣府「若年層の意識実態調査」(2003年)により作成。
2. 「共働き世帯」は、夫婦とも正社員の世界。
3. 「妻パート世帯」は、夫が正社員で、妻がパート・アルバイトをしている世帯。
4. 「専業主婦世帯」は、夫が正社員で、妻が専業主婦をしている世帯。
5. 「世帯収入」は、親非同居の世帯の年間収入(税込み)の平均額。平均収入は、各階層に属する人すべての収入が、その階層の中間値(ただし、50万円未満は25万円、2,000万円以上は2,000万円)であると仮定して計算した。回答者は全国の学生を除く20～34歳の男女309人。
6. 「夫の収入」は、正社員の夫の年間収入(税込み)の平均額。平均額は、各階層に属する人すべての収入が、その階層の中間値(ただし、50万円未満は25万円、2,000万円以上は2,000万円)であると仮定して計算した。回答者は全国の学生を除く20～34歳の男性206人。
7. 「自由に使えるお金」は、1か月当たり、趣味やレジャーなど、自分のために(使おうと思えば)使えるお金の平均額。平均額は、各階層に属する人すべての金額が、その階層の中間値(ただし、2万円未満は1万円、30万円以上は30万円)であると仮定して計算した。回答者は全国の学生を除く20歳～34歳の男女498人。
8. 生活満足度は、「あなたは、全体的として、現在の生活にどの程度満足していますか。あなたの考えに近いものをお答えください。(〇は1つ)」という問いに対して、満足している人(「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した人の合計)の割合。回答者は全国の学生を除く20～34歳の男女498人。

また、共働き夫婦が増加し、仕事と家庭の役割はお互い平等に半分ずつ行い両立を支持している割合は高いが、実際には女性の家事や育児の負担が大きいために、結婚をためらう理由にもなっていると考えられる。

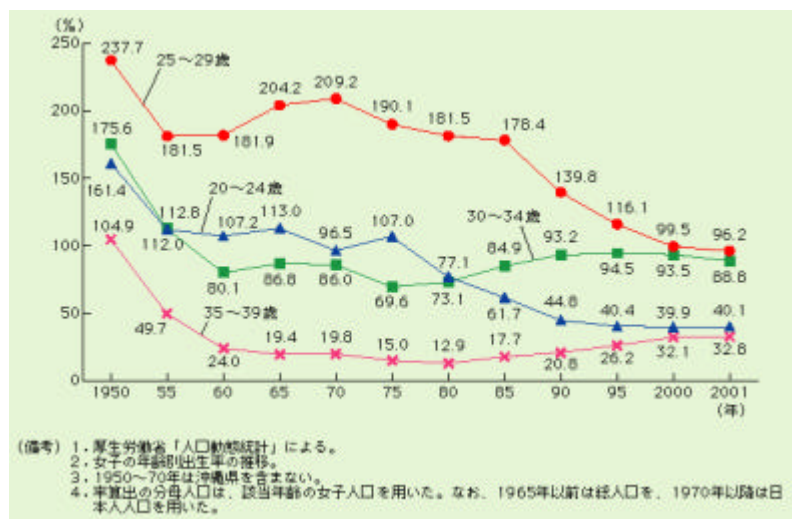
＊女性の高学歴化により、女性は少なくとも自分と同等かそれ以上の学歴と結婚したいとする同類婚・上方婚志向がある。（国立社会保障・人口問題研究所「第11回出生動向基本調査」）高学歴の女性が増えている現状をみると、結婚におけるミスマッチが生じることが予想される。

○経済が低迷する中で進む少子化

若年を取り巻く経済社会環境の変化、結婚に対する意識の変化などの影響で、未婚化、晩婚化が進んでいる。これらは、少子化の原因ともなり、社会全体の活力の低下などの問題を生む。

少子化の原因には、これらの要因のほか、結婚しても子どもを生まない、又は生む数を減らしている、ということが挙げられる。

35～39歳の出生率が上昇し、晩産化が進んでいるが、出産数の多い25～29歳の出生率の低下が著しいため、全体の出生率は低下し、少子化の傾向にある。



かわいいから子どもを持ちたいといった子どもに対する意識の変化を背景に、子育てのコストが上昇し、しかし、経済情勢の厳しい現状が子育てへの経済的な負担感を増し、少子化がさらに進むことが懸念されている。

＊子育てにおいて、育児に自信がない、自分のやりたいことができなくてあせるなどの様々な不安が生じていることが、若年の出産意欲の低下をもたらしている。しかも正社員の女性よりも専業主婦の方が不安の割合が高い。